

令和4年9月30日以前に保険関係が成立し雇用保険が適用される事業は、太枠内を記入し申告書と共に提出してください。
 雇用保険のみ申告を行う場合は、雇用保険分の太枠内を記入し申告書と共に提出してください。
 <二元適用事業であって労災保険のみ申告を行う場合は、この書類の記入・提出は不要です。>

令和4年度 労働保険 確定保険料算定内訳

令和4年度の確定保険料内訳を下記のとおり報告します。

令和 年 月 日

労働局労働保険特別会計歳入徴収官 殿

労働保険 番号	都道府 県	所掌	管轄	基 幹 番 号	枝 番 号

事業主 住所 _____

氏 名 _____

区 分(適用期間)		① 算定期間 令和4年 月 日～ 令和 年 月 日	② 保険料算定基礎額	③ 保険料率	④ 確定保険料額(その1)
労 災 保 険 分	令和4年4月1日 ～ 令和4年9月30日	(a) 千円未満端数切り捨て	1000分の 千円	(f)	(i) (a)×(f) 一円未満の端数は切り捨てない 円
	令和4年10月1日 ～ 令和5年3月31日	(b) 千円未満端数切り捨て 千円			(j) (b)×(f) 一円未満の端数は切り捨てない 円
	労災保険分 (計)		(a)+(b) 千円 ⇒申告書⑧欄(ロ)へ転記	△	(i)+(j) 一円未満の端数は切り捨てない 円
			(a)=(c)かつ(b)=(d)の ※ 場合、右の□に ✓を入れる		
雇 用 保 険 分	令和4年4月1日 ～ 令和4年9月30日	(c) 千円未満端数切り捨て	1000分の 千円	(g)	(k) (c)×(g) 一円未満の端数は切り捨てない 円
	令和4年10月1日 ～ 令和5年3月31日	(d) 千円未満端数切り捨て 千円			(h) 1000分の 千円
	雇用保険分 (計)		(c)+(d) 千円 ⇒申告書⑧欄(ホ)へ転記	△	(k)+(l) 一円未満の端数は切り捨てない 円
			(a)=(c)かつ(b)=(d)の ※ 場合、右の□に ✓を入れる		

① 算定期間
【始期】
・令和4年4月1日以前に保険関係が成立した場合、「令和4年4月1日」
・令和4年4月1日以降に保険関係が成立した場合、その成立年月日
【終期】
・保険関係が消滅した年月日

② 保険料算定基礎額
【労災保険分】
・左欄の適用期間中に使用した労働者に係る賃金総額を(a)、(b)に記入
【雇用保険分】
・左欄の適用期間中に使用した雇用保険適用者に係る賃金総額を(c)、(d)に記入

③ 保険料率
【労災保険分】
・令和4年度の労災保険率を(f)に記入
・リット労災保険率が適用される場合は、令和4年度概算保険料申告書に記載された労災保険率を記入
【雇用保険分】
・令和4年度前期の雇用保険率を(g)に、後期の雇用保険率を(h)に記入
(注)厚生労働省HPで雇用保険率を確認できます

④ 確定保険料額(その1)
・④各欄に記載のとおり記入

⑤ 確定保険料額(その2)
・⑤各欄に記載のとおり記入
・雇用保険分のみ申告を行う場合は、(n)のみ記入し、(m)+(n)の欄には(n)の額を記入

⑤ 確 定 保 険 料 額 (そ の 2)	※ が の □ 場 合 (空 欄)	(m) ●から転記、転記の際一円未満端数切り捨て 円 ⇒申告書⑩欄(ロ)へ転記
		(n) ▲から転記、転記の際一円未満端数切り捨て 円 ⇒申告書⑩欄(ホ)へ転記
		(m)+(n) 円 ⇒申告書⑩欄(イ)へ転記

⑤ 確 定 保 険 料 額 (そ の 2)	※ が の □ 場 合 (空 欄)	(o) ●から転記、転記の際一円未満端数切り捨て 円 ⇒申告書⑩欄(ロ)へ転記
		(p) ▲から転記、転記の際一円未満端数切り捨て 円 ⇒申告書⑩欄(ホ)へ転記
		(o)+(p) 円 ⇒申告書⑩欄(イ)へ転記
	※ が の □ 場 合	(q) ●から転記、転記の際一円未満端数切り上げ 円 ⇒申告書⑩欄(ロ)へ転記
		(r) ▲から転記、転記の際一円未満端数切り捨て 円 ⇒申告書⑩欄(ホ)へ転記
		(q)+(r) 円 ⇒申告書⑩欄(イ)へ転記